

平成 27 年度学術研究機関・中小企業支援機関連携セミナー アンケート結果

Q1.本日のセミナーに対する評価について該当する番号に○を付け、その理由や感想等を具体的に記入してください。

	1(大変不満足)	2(不満足)	3(どちらともいえない)	4(有意義)	5(大変有意義)
<1/12 八戸会場>					
八戸工業大学	1	0	12	18	1
八戸工業高等専門学校	1	1	13	15	2
八戸地域研究所	1	0	9	19	2
コーディネート事例	1	1	6	18	5
<1/26 青森会場>					
保健大学	1	0	9	15	2
工業総合研究所	1	0	9	14	2
コーディネート事例	1	0	4	13	7
<2/29 弘前会場>					
弘前大学	0	0	1	10	13
弘前地域研究所	0	0	1	10	13
コーディネート事例	0	0	1	12	9

※個別機関に対する自由記述については省略。

以下、カッコ内は回答数であり、回答内容により重複カウントも含む。

Q2.セミナーの情報について、今後の業務にどのように取り入れますか。

○今後の活用

- ・取引先企業へ紹介・情報提供していきたい。(27)
- ・シーズと中小企業におけるニーズをマッチングしたい。(4)
- ・気軽に相談してみたい。(3)
- ・経営者・社長との面談時に紹介できるようにしたい。(2)

○その他

- ・金融がどこで関わってどのような支援をしたかの情報が欲しかった。(4)
- ・経営者のおもいをどれだけ感じ取れ、聞くことができるかが重要であり、今後もコミュニケーションをはかりたい。
- ・今後も定期的開催してほしい。

Q3.中小企業支援における目利き能力の向上や、学術研究機関との連携を図るうえで課題になっていること、その解決のために欲しい情報などがありますか。

○課題になっていること

- ・大学や研究機関との繋がりがなく、相談に一步踏み込めない。(4)
- ・連携について窓口がわからない。(3)
- ・一番の問題は費用面だと思います。(2)
- ・目利き能力の向上についての推進。

○欲しい情報

- ・連携を図るための具体的な手続き方法や、入口から出口までのイメージがわかりやすいパンフレット。(3)
- ・研究に関する情報。(2)
- ・補助金等の支援制度の情報。(2)
- ・本日のような施策紹介や、金融機関へ出張セミナーなどにより相談窓口を知らせていただくこと。
- ・課題の提案を積極的にやってほしい。

○その他

- ・学術研究機関の仕組みがわからなく、知識がなく課題となっていたため、このようなセミナーで知ることができ良かったと思う。(2)
- ・顧客の事業内容について、より深い理解が必要となる。

Q4.本セミナーの対象とする機関以外で、説明を聞きたい機関がありますか。

○機関・テーマ

- ・八戸で食品関係（食品総合研究所、農産物加工研究所）のセミナーを開いてほしい。
- ・おもいのある中小企業の方の説明を聞きたい。
- ・生産者の声。
- ・産学プロジェクトから生まれた商品について。
- ・支援制度を活用した企業先の社長の話も聞けたら面白い。

○金融について

- ・金融関係の状況を知りたい。
- ・エンジェル、ベンチャーキャピタル等のリスクマネー供給機関について。
- ・金融機関の研究所紹介を聞けるといいのでは。
- ・リレバンに向けての話が聞けるとよいのではと思った。

○その他

- ・観光に関するセミナー。
- ・特に今は思いつかないが逆に、ほかにどういふところがあるのか知りたい。
- ・国等の支援内容。
- ・ものづくり推進コーディネータの相談先。

Q5.その他、中小企業支援に関して、お気づきの点や御意見等がありましたら御記入ください。

○セミナーの改善点

- ・セミナーのセットは良いと思います。内容は再検討されると良いと思います。シーズ紹介は銀行の方には難しいです。
- ・学術研究機関のセミナーは研究紹介が主なテーマとなっており、金融サイドとして活用方法を見出すのは難しいカリキュラムである。

○中小企業支援について

- ・中小企業者の経営者の技術開発に対する思いが欠けている。ハングリー精神が欠けている。
- ・中小企業支援については具体的なテーマで取り組むことが必要である。
- ・中小企業に関しては技術面もそうですが、資金面がかなり重要だと思います。また、今後、産学官金の連携は重要

だと感じております。

・さらに支援機関同士の連携が必要と感じた。

○その他感想

・化学系について難しい用語も多く勉強したい。

・コーディネート事例興味深かったです。